

小郡市地域おこし協力隊
による活動報告コラム。

小郡農業活性化

小郡で育てて 小郡で食べる

日々の活動を
配信信中!

Facebook 小郡市地域おこし協力隊

Instagram moromoro82

Twitter nougyou_ogori82

市産の農作物を、
多くの消費者へ



諸岡佳紀(もろおかよしき)

1984年、佐賀県生まれ。京都の大学を卒業後、金融業界、新聞社で10年間勤務。小郡市に住む友人の影響で、まちの魅力を身近に感じ、地域おこし協力隊に興味を抱く。35歳の節目に一念発起で応募。



珍しい野菜たちの手作りレシピを紹介してくれた山下さん

住宅街の直売所で約60種類の珍しい野菜を販売

11月に全世帯に配布した「おごおり地産マップ」。市内の直売所を45か所掲載しています。そこで情報収集のため、市内のあちこちの無人販売所を訪ね歩きました。その最中、住宅街の家々の中にポツリとたたずむ販売所を見つけました。

そのお店の名前は「ヒロファーム」。美鈴が丘の住宅街にあります。手づくりの屋台には、イタリアナス、デストロイヤージャがいもなど珍しい野菜が並びます。「個性的な品種を少量ずつ育てています。年間で60品種ぐらいいすかね」と語るのは生産者の山下廣昭さん。山下さんは12年前から有機農法による野菜づくりを本格的に始めました。「趣味の家庭菜園として農業を始めたので、大規模生産ではなく、一つ一つの野菜に目の届く今のスタイルになりました」とのこと。またお客さんへの気遣いを忘れない山下さんは、「珍しい野菜を購入した人が調理法に悩まないよう、手作りのレシピを店頭に置いて紹介しています。」

そんなヒロファームは三沢に2号店があり、本店と同じ個性派野菜が並びます。2号店に基山町から買い物に訪れた50代女性は、珍しいナスを購入しレシピをスマートフォンで撮影。

「献立のレパートリーが広がる。珍しい野菜は、食卓での話題にもなるんですよ」と嬉しそうに話してくれました。



Ogostagram

地域おこし協力隊の日々の活動記録。



おごおり地産マップは市HPでも公開中! スマホを片手にぜひお買い物を。



山隈の無人販売所「山伏百円野菜」。100円で買える新鮮な里芋が名物。煮つけやコロッケに向くそうです。冬場は熱々のおでんの具に最適ですよ。



大崎の松尾農園が、秋からイチジクを使った自家製ジャムを販売しています。優しい甘みが特徴で、トーストやヨーグルトに合います。カレーの隠し味にも。



乙隈に住む米倉英俊さんが畑でひょうたんを育てています。14年前から栽培を始め、地元の小学校で子どもたちに育て方を教えてきたそうです。



女性農家グループ「オゴオリ☆農ガールズ」がラッキョウのハチミツ漬けを開発。シャキシャキした食感と甘い風味が楽しい一品は、宝満の市で販売中!



大保の農家さんが蕎麦(そば)を育てています。数年前に友人から種を分けてもらったのですが栽培が難しく、毎年、作付けを変えてチャレンジ中です!